


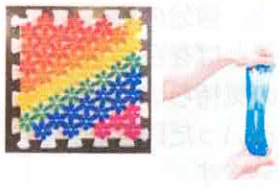
CU きっずのプログラム

CU きっず平野西の、5 領域に基づいたプログラムの例を紹介します😊



〔 健康・生活 〕

	活動内容	目的	内容
	おやつ	<ul style="list-style-type: none"> イラストのお金を使用し、お金の意味の理解、計算する、予算内で買うといったことを学びます 複数のお菓子の中から自分が食べたいものを選択する、自己決定能力を伸ばします 	おやつの時間にイラストのお金を利用して、買い物を経験をします

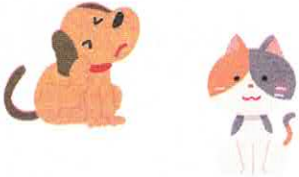
〔 運動・感覚 〕

	活動内容	目的	内容
	感覚マット 感覚グッズ	固有覚（力の調整）、前庭覚（バランス、揺れ）、触覚といった発達のベースとなる感覚がバランス良く取捨選択できるようにします	感覚マットや感覚グッズ（粘土、スライム等）を使用して、手や足から受け入れられる感覚を拡げ、ボディイメージや全身の運動の能力の向上に繋がります



〔 認知・行動 〕

ビジョントレーニング	活動内容	目的	内容
	隠れているのは何かな？	イメージする力や全体を見る力の向上を目指します	絵の一部を見て、何であるかを考えます
構成課題	活動内容	目的	内容
	パズル (四角形ピース)	<ul style="list-style-type: none"> イメージする力、全体、細部への注目や目と手の協応の向上を促します 困った時に援助を求める力を伸ばします 	全てピースが四角形で同じ形であるため、絵をイメージする力や見比べる力がジグソーパズルよりも得られやすいです

[言語・コミュニケーション]

	活動内容	目的	内容
	ことばさがし	ことばを想起する力の向上、 単語を構成する音への意識、 テーマに沿って持続して考える 力を伸ばします	<ul style="list-style-type: none"> “動物”“果物”といった カテゴリーからことばを想 起してもらいます（例：動 物→犬） “あ”がつくものといっ た音からことばを想起して もらいます （例：あ→あいす）

[人間関係・社会性]

SST (ソーシャルスキル トレーニング)	活動内容	目的	内容
	気持ちの理解、 表出	表情と気持ちのことばが合わせ られる、理解できる気持ちのこ とばが増える、場面に合わせた 気持ちの表現ができるように働 きかけます	表情に合った気持ちのこと ばを選ぶ、表情を見て、気 持ちのことばが表出でき る、場面に合った表情のカー ドを選ぶ、自分の経験と 気持ちのことばを合わせ る、他者の気持ちの読み取 りをするといった段階に分 けて実施します
	気持ちの コントロール (気持ちの 段階表)	“楽しい”“悲しい”といった 気持ちを数値化して段階評価が できるように提示し、コントロ ールの力を伸ばします	“楽しい”、“悲しい”とい った気持ちごとに段階をつ けて、具体的に数値にする ことで気持ちの強弱を理解 する、出来事や物と合わせ る（例：感情、好き嫌い） といった方法で気持ちのコ ントロールを考えます

- ☆ お子様がモチベーション高く自発的に取り組めるように、まずお子様の好きや興味があるものを探します
- ☆ 目標に向けてのステップアップを細かく提示し、難易度を調整する中で、“できた！！”成功体験を積み重ねてお子様の自信に繋がります
- ☆ 全身の粗大運動⇒手先の微細運動、感覚面のベース作り⇒言語、ビジョントレーニング⇒学習姿勢の形成等、成長は多方面の能力が影響しています。一人一人のお子様にあった方法で楽しくプログラムに取り組んで成長できるようにサポートします